

国民平和行進

12日、北勢→津コースが桑名を出発、四日市へ
和歌山→三重→広島コースは伊勢から松阪へ

11日、北勢コースが自治体訪問

11日、北勢コースは14名が参加して木曾崎町、東員町、いなべ市、菰野町を訪問し、木曾崎町では町長、議長と懇談しました。いなべ市では、町長代理で奥岡総務部長が応対していただきました。また、一部の自治体を除いて平和行進への協賛金をいただきました。

12日、桑名市を出発し、四日市市へ

12日、桑名市役所を出発した北勢コースには、通し行進者の荒木さんを先頭に36名が参加し、四日市市富州原で四日市側に引き継がれました。

桑名市では、市長のメッセージをいただきました（別掲）。

朝日町では田代町長が「憲法改悪反対」を表明

また、朝日町では田代兼二郎町長から激励の挨拶を受けました。田代町長は挨拶の中で「憲法改悪には反対しなければならない」といわれました。

水谷・桑名市長のメッセージ

「本日 原水爆禁止2009年国民平和行進にご参加の皆さん 大変ご苦労様でございます。

核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現は、全人類共通の願いです。

本市では「非核平和都市宣言」を行い 全人類の共存共栄、そして美しい自然と緑の地球を 核の脅威から守ることを願っているところであります。

しかし 残念なことに 現在なお 大量の核兵器が存在しており 平和と生命に脅威を与えております。

本年5月には 隣国の朝鮮民主主義人民共和国で核実験が行われたことは 記憶に新しく 被爆国民として その無謀な暴挙に対し断固抗議をしたところです。

人類史上最初の被爆国民として 非核三原則を厳守するとともに この平和で美しい地球を次の世代に引き継いでいくことが私たちの責務であります。

一日も早く 「核兵器の廃絶、恒久平和」が訪れることをご祈念申し上げますとともに 平和を願う皆様の活動に 心から敬意を表します。

平成21年6月12日

桑名市長 水谷 元